

SpeechMikeAir LFH3000

- **AmiVoice SP2** 運用マニュアル



Advanced Media, Inc.

無線機器使用上の注意

◎安全上の注意

- ◆回路のショートを避けるため、本製品を雨または水に濡らさないでください。
- ◆機器を加熱したり直射日光に当てたりして本デバイスを高温にさらさないでください。
- ◆特にプラグやユニットから出た部分のケーブルが絡まないよう保護してください。
- ◆ワイヤレスデバイスは干渉の影響を受けやすく、性能に影響が生じる場合があります
- ◆埋め込み医療機器医療機器メーカーは、医療機器の干渉を防ぐために、ワイヤレスデバイスと埋め込み医療機器(ペースメーカーまたは埋め込み除細動器等)の間の距離を15.3センチ(6インチ)以上離すことを推奨しています。当該デバイスを使用するユーザーは以下の点に注意してください。
 - ・ワイヤレスデバイスの電源をオンにしているときは、医療機器から必ず15.3センチ(6インチ)以上離してください。
 - ・胸ポケットにワイヤレスデバイスを入れないでください。
 - ・干渉が生じているかも知れないと感じたら、直ちにワイヤレスデバイスの電源を切ってください。
 - ・埋め込み医療機器メーカーの指示を読み、それに従ってください。
- ◆補聴器デジタルワイヤレスデバイスの中には補聴器と干渉するものもあります。干渉が生じた場合、サービス提供者に問い合わせてください。
- ◆自動車自動車に正しく設置されていない電子システムまたは十分に保護されていない電子システムがある場合(燃料噴射システム、電子滑り止め(アンチロック)ブレーキシステム、電子速度制御システム、エアバッグシステム等)、RF信号の影響を受ける場合があります。詳細については、お持ちの自動車または追加した機器のメーカーまたは販売代理店までお問い合わせください。
- ◆航空機内で本デバイスを使用することは禁止されています。機内に入る前にデバイスの電源をお切りください。航空機内でワイヤレス通信機器を使用すると、航空機の性能に悪影響が生じたり、ワイヤレス電話網を妨害することがあり、使用することは違法となる場合があります。

◎クリーニングおよび消毒

- ◆クリーニング前にデバイスのプラグを外します。
- ◆柔らかい布を使い、必要であれば水や希釈した低刺激石鹼水で少しだけ湿らせ、本製品の汚れを取り除きます。
- ◆医療施設内の表面および患者治療機器の消毒用製品(表面消毒タオル等)を使用して本デバイスの汚れを取り除くことができます。
- ◆刺激の強い薬品や強力な洗剤は使用しないでください。
- ◆堅いもので表面をこすったりぶついたりしないでください。表面が回復できない程度に傷付いたり破損する恐れがあります。

AmiVoice SP2 + SpeechMikeAir 御使用までの流れ

準備 (AmiVoice
SP2インストール
ディスク)

- AmiVoice SP2 のインストール
- SpeechMikeのインストール
AmiVoice SP2のプログラムCDから
「SpeechMikeをインストール」を実
行してください。

マイクの接続

- SpeechMikeAir 同梱品の確認
- ドッキングステーションの接続
- ドッキングステーションとレシーバーモ
ジュール接続
- SpeechMikeAirの充電

調整
使用開始

- AmiVoiceSP2の設定・調整
- ワイヤレスマイク使用開始

同梱品



ディクテーション
マイクロホン



ドッキングス
テーション



レーザーモ
ジュール



USBケーブル



ACアダプター



ネックストラップ



専用充電式電
池(LFH9154)



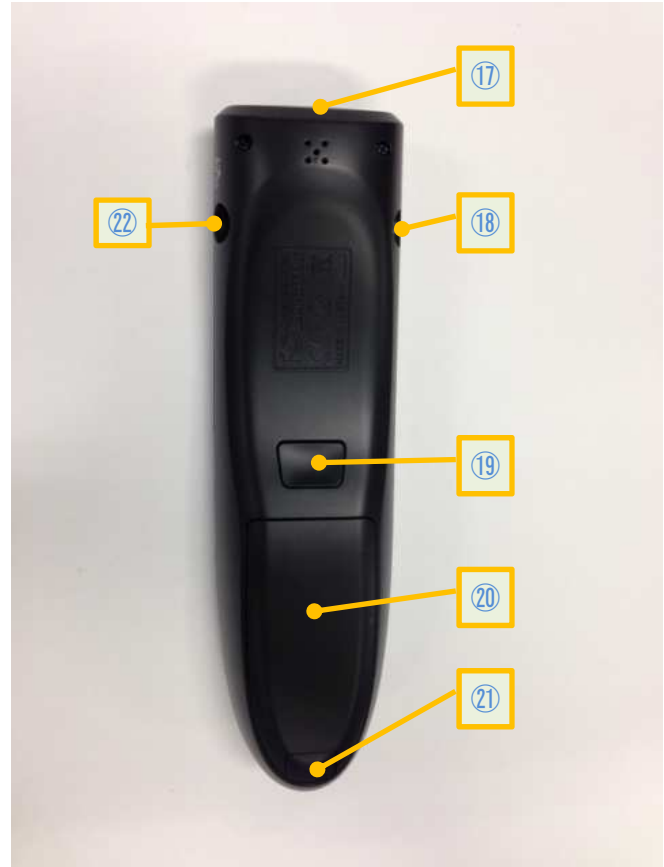
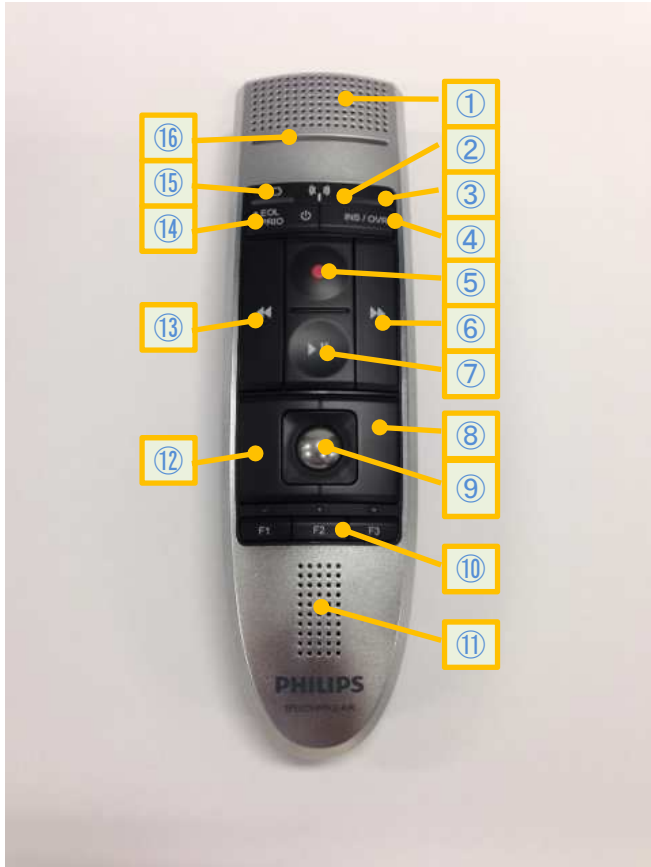
カラーステッ
カー



スタートガイド
ユーティリティ&
ユーザーマニ
ュアルCD-ROM
※使用しません

SpeechMikeAir 製品概要

ディクテーションマイクロホン



- ① マイクロホン
- ② 無線接続インジケータ
- ③ 挿入インジケータライト
- ④ INS/OVR 挿入/上書ボタン
- ⑤ Rec 録音ボタン
- ⑥ ▶▶ 右移動ボタン
- ⑦ ▶|| 再生ボタン
- ⑧ 右クリック(マウス機能)
- ⑨ トラックボール(マウス機能)
- ⑩ F1~F3 カスタマイズ用ボタン
- ⑪ スピーカー
- ⑫ 左クリック(マウス機能)
- ⑬ ◀◀ 左移動ボタン
- ⑭ 電源ON/OFF EOLボタン
- ⑮ 充電レベルインジケータ
- ⑯ 録音インジケータ

- ⑰ ストラップホール
- ⑱ ヘッドセットコネクタ
- ⑲ 裏ボタン(初期設定:文字転送機能)
- ⑳ 電池カバー
- ㉑ 電池カバー リリースボタン
- ㉒ ACチャージャーコネクタ

SpeechMikeAir 製品概要

ドッキングステーション



背面



前面

- ①レシーバーモジュール
ドッキングスロット
- ②ACアダプターコネクタ
- ③ミニUSBコネクタ
- ④SpeechMikeドッキングスロット
- ⑤電源インジケータライト

レシーバーモジュール



- ①ペアリングボタン
- ②ミニUSBコネクタ
及びドッキングステーションコネクタ

カラーステッカー



※レシーバーモジュールと
ディクテーションマイクの
ペアリングを目視するために使用。

SpeechMikeAirの接続 ①



①ACアダプターの接続



②USBケーブルの接続 ⇒PCのUSBポートとつなぎます



③ドッキングステーションにレシーバーモジュールを差し込みます



④電池カバーを開き充電電池を挿入します ※記載の極性に注意して挿入してください。

SpeechMikeAirはPhilips純正LFH9154
もしくは単4アルカリ乾電池で動作します。
※純正LFH9154以外の電池は充電できません

完全に充電するには約2.5時間かかります。

電池は消耗品です。
十分に充電できなくなったら新しいものを購入してください。

SpeechMikeAirの接続 ②

⑤SpeechMikeAirの充電

SpeechMikeをドッキングステーションにロックされるまで押し込みます。

- ・充電中は充電レベルインジケータが点滅します
- ・充電が終わると緑色になります。

(注) USB接続で充電も可能ですがPCのUSBポートの給電環境によっては充電量が不足する場合があります。
不足する場合はACアダプターを使用してください。



⑥ACアダプターから直接充電

ACアダプターをSpeechMikeAirに直接つないで充電する事も出来ます。

電池が消耗しているときはACアダプターを接続したまま使用する事が出来ます。



| 充電レベルインジケータ | 電池ステータス |
|-------------|-----------|
| 緑色 | 充電残り30%以上 |
| オレンジ | 充電残り30%未満 |
| 赤色 | 充電残り10%未満 |

⑦SpeechMikeAirの電源ON/OFFはON/OFFボタンを5秒程度押し続けます。

電源ONになると電源インジケータが点灯します。

- ・ドッキングステーションとの接続確立中はワイヤレス接続インジケータが青色に点滅します。
- ・正常に接続するとインジケータが青色点灯状態になります。

(節電モード)2時間以上使用しないと、自動的に電源が切れ電池寿命を節約します。

再使用する場合は電源インジケータが点灯するまでON/OFFボタンを押します。



SpeechMikeAir ワイヤレス接続に関して①

SpeechMikeおよびレシーバーモジュールは、工場出荷時設定でペアリングされており、通常は手動接続は不要です。自動ワイヤレス接続が失敗したり、SpeechMikeを他のレシーバーモジュールとペアリングしたい場合は、手動で接続設定してください。

①ワイヤレス接続の手動設定(ドッキングステーションを使用する方法)



(準備)

- ・レシーバーモジュールをドッキングステーションに挿入する
- ・ディクテーションマイクの電源を入れ、ドッキングスロットに挿入し、ロックされるまで押し込みます。

(ペアリング)

- ・レシーバーモジュールのペアリングボタン【PAIRING】を3秒間押し続けます。
- ・レシーバーモジュールがペアリングモードになり、ペアリングボタンが青色に点滅します。
- ・接続が成功するとディクテーションマイクのワイヤレス接続インジケータとレシーバーモジュールのペアリングボタンが青色に点灯します。

①ワイヤレス接続の手動設定(ドッキングステーション無しで行う方法)



(準備)

- ・レシーバーモジュールをUSBケーブルでパソコンに接続し、パソコンの電源を入れる。

(ペアリング)

- ・レシーバーモジュールのペアリングボタン【PAIRING】を3秒間押し続けます。レシーバーモジュールがペアリングモードになり、ペアリングボタンが素早く青色に点滅します。
- ・ディクテーションマイクの電源を入れ、functionボタン「F1」と「F3」を同時に1秒間押します。
- ・接続が成功するとワイヤレス接続インジケータとレシーバーモジュールのペアリングボタンが青色に点灯します。



SpeechMikeAir ワイヤレス接続に関して②

③接続可能な範囲について

ワイヤレス接続の動作範囲は10メートル(33フィート)です。

ディクテーションマイクとドッキングステーションは直接見える範囲に無くても接続可能ですが、距離が近い方が接続性は良くなります。

障害物やその他の電子機器により干渉を受ける場合があります。

受信エリアを外れるとバイブレーション警告により不安定な情報を通知します。

ワイヤレス接続が切断されるとディクテーションマイクから警告音が鳴ります。

④接続の確認(ペアリングの確認)



・レシーバーモジュールのペアリングボタン【PAIRING】を短く押します。



・レシーバーモジュールと接続されているスピーチマイクからビープ音が鳴ります。

AmiVoice SP2 の設定

事前に「**AmiVoice SP2**取扱説明書」に従い、「AmiVoice SP2をインストールする」と「SpeechMikeをインストールする」を実行してください。

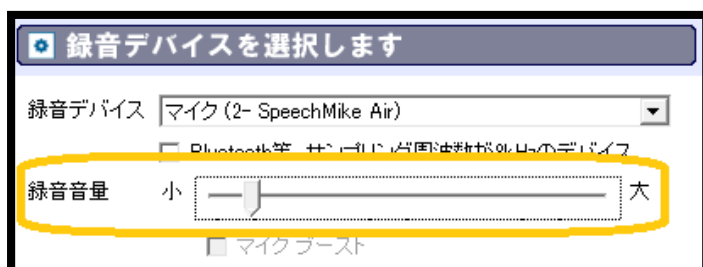
デバイスの選択設定

AmiVoice SP2 のツールバーの「設定」から、「録音デバイス」にて「SpeechMikeAir」を選択します。



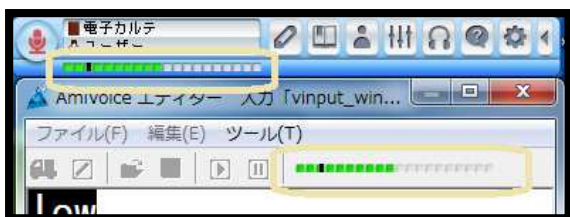
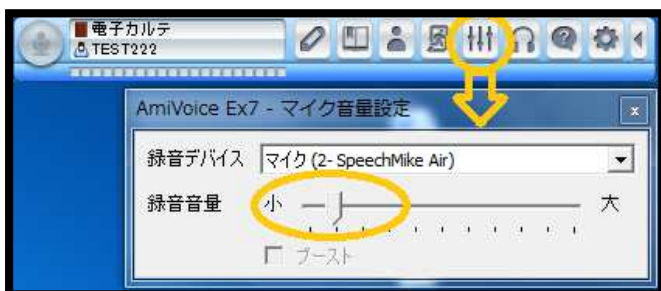
録音音量の調整 (1)

「録音デバイス」選択画面で「録音音量」の設定を行います。



録音音量の調整 (2)

AmiVoiceツールバー上の「マイク音量」からも調整が出来ます。



【調整の範囲】

※(注)調整の範囲はボリュームメーターの緑色範囲内に収まるよう調整してください。赤色になると認識結果が悪化します。

ボタン設定のカスタマイズ

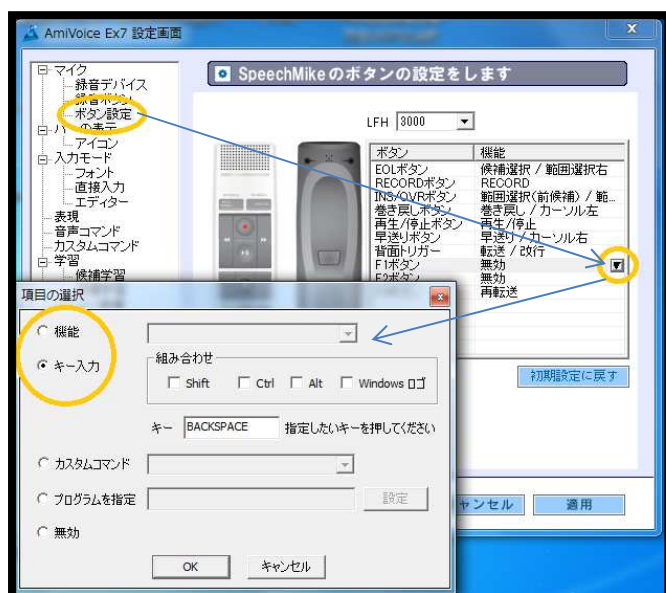
SpeechMikeのボタン設定は任意に変更可能です。
使いやすいようにカスタマイズしてご使用ください。

デバイスの選択設定

AmiVoice SP2 のツールバーから「設定」画面を開き、「ボタン設定」にてカスタマイズ設定します。

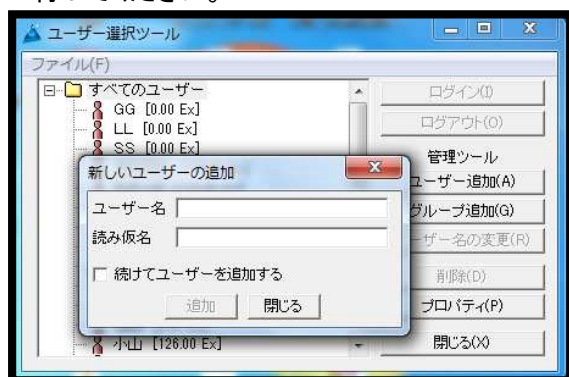


「ボタン設定」を開き、右側の該当ボタン部選択後、機能の選択を設定する事が出来ます。



「設定」された項目は「ユーザー」単位で保存されます。

「ユーザー選択ツール」にて「ユーザー追加」して頂き、設定を行いたいユーザーでログインした状態で設定を行ってください。



※本紙に記載されていない機能、設定についてはAmiVoice SP2のマニュアルをご確認ください。

良くある質問(Philips社製品マニュアルより転記)

◆再起動後OSが反応しない

フィリップスSpeechMikeを特定のUSBハブで使用すると、パソコン起動後OSの反応が停止する場合があります。

PC起動前にSpeechMikeの接続を外し、起動後に再接続してください。

USBハブを交換するか、SpeechMikeを直接パソコンのUSBポートに接続することを推奨します。

◆SpeechMikeがまったく機能しない

パソコンメーカーの中には、USBポートの出力を100mAに制限している場合もあります。

これらのポートではSpeechMikeが正しく機能するだけの電力を提供することができない場合があります。

・ACアダプターを使用してください。

・セルフ電源ハブでSpeechMikeを接続してください。

◆SpeechMikeが入力コマンドに反応しない

ドッキングステーションへのワイヤレス接続が切断している場合があります。

・ワイヤレス接続をチェックしてください。

・本ユーザーマニュアルに記載されるペアリング方法を実行してください。

◆ディクテーションマイクロホンの電源が入らない

・電池の充電量が非常に少なくなっています。ディクテーションマイクロホンを充電してください。

◆ディクテーションマイクロホンがドッキングステーションに接続されない

ペアリングがリセットされているか、ディクテーションマイクロホンが他のドッキングステーションとペアリングされています。

・本ユーザーマニュアルに記載されるペアリング方法を実行してください。

◆SpeechMikeをパソコンに接続しているが音声はパソコンのスピーカーからしか聞こえない

Windows XPで一度に再生できるデバイスは1つのみで、SpeechMikeをインストールした後に他の再生デバイスを有効にした場合、再生デバイス設定を「SpeechMike Air」に戻さなければならない場合があります。

・スタート>コントロールパネル>サウンドおよびオーディオデバイス>オーディオ(タブ)から設定します。

・または、ツールバーにスピーカーアイコンがある場合はそれを右クリックし、オーディオプロパティの調整を選択します。

Windows Vistaで一度に再生できるデバイスは1つのみですが、デバイスの再生を無効にした場合、録音も無効になります。右クリックで「無効にしたデバイスを表示」を選択し、設定を変更しなければならない場合があります。

・スタート>コントロールパネル>サウンド>再生(タブ)から設定します。

・または、ツールバーにスピーカーアイコンがある場合はそれを右クリックし、再生デバイスを選択します。

(原文のマニュアルは下記より入手出来ます)

https://www.dictation.philips.com/us/support-contact/product-support/product/speechmike_air_wireless_dictation_microphone_lfh3000_series/

SpeechMike Air 保障について

・保証期間: 製品出荷より1年(バッテリー含)

・修理対応について

- 受注生産品の為、代替機の用意はありません。
- 故障対応はセンドバック(修理依頼時の送料はお客様負担)といたします。
- 修理方法は修理品と修理交換品のエクステンジ方式
- 保証期間外の修理対応は有償対応となります。
- 受注生産品の為修理完了品の返送には2か月程度を見込んでおります。
- 修理品依頼時は本体及び付属品全ての返却をお願いします。

付属品⇒ドッキングステーション、レシーバーモジュール、ACアダプター、充電機、USBケーブル等

※本体のみの返却、純正以外のUSBケーブルで返却すると保証期間ないでも有償修理対応となるのでご注意ください。

・消耗品(専用充電機)の購入について

- 専用充電機 LFH9154 は単品で購入する事が出来ます。
- 購入については担当営業までお問合せください。

◆修理受付◆

セントラル産業株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園1-3-8 松木ビル2階

TEL:03-3433-2361

FAX:03-3433-2364

E-Mail:info@cntrl.co.jp

受付時間: 土日祝祭日を除く、平日の9:00~17:30